



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 2019 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2019 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2019 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

日本たばこ産業株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック株式会社(CRO: 調査受託会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

2019 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2019 年 3 月)

目次

調査対象薬剤	1
<調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移>	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	
(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移>	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	
(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移>	5
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	
(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>	6
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)>	7
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)>	8
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>.....9

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>.....10

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>.....11

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>.....12

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数>.....13

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

<2016 年度から 2018 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)>.....14

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2019 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
サムチール内用懸濁液 15%	アバコン	2012 年 1 月 ~ 2020 年 1 月
エゾラント錠 25mg	リルピビリン (RPV)	2012 年 5 月 ~ 2022 年 5 月
スアリビルド配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン /テノホビル シソフ ロキシルフマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ~ 2023 年 3 月
テビケイ錠 50mg	ドルテグラビル (DTG)	2014 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
コムフレ配合錠	リルピビリン/テノホビル・シソフ ロキシルフマル酸塩 /エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月 ~ 2022 年 5 月
トリメク配合錠	ドルテグラビル/アバカビル流酸塩/ラミブジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
ゲンボイ配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン/ テノホビル アラフェナミド フマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TAF)	2016 年 6 月 ~ 2026 年 6 月
フレゾコビックス配合錠	ダルナビル エタノール付加物/コビスタット (DRV/COBI)	2016 年 11 月 ~ 2023 年 3 月
テシコビ配合錠 LT	エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド フマル酸塩 (FTC/TAF)	2016 年 12 月 ~ 2026 年 6 月
テシコビ配合錠 HT		
アイセントレス錠 600mg	ラルテグラビル (RAL)	2018 年 5 月 ~ 2024 年 5 月
オデフシ配合錠	リルピビリン塩酸塩/テノホビル アラフェナミド フ マル酸塩/エムトリシタビン (RPV/TAF/FTC)	2018 年 8 月 ~ 2026 年 6 月
ジヤルカ配合錠	ドルテグラビルナトリウム/リルピビリン塩酸塩 (DTG/RPV)	2018 年 11 月 ~ 2024 年 11 月
ビクタビル配合錠	ビクテグラビルナトリウム/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド フマル酸塩 (BIC/FTC/ TAF)	2019 年 3 月 ~ 2029 年 3 月

(参考:2019年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

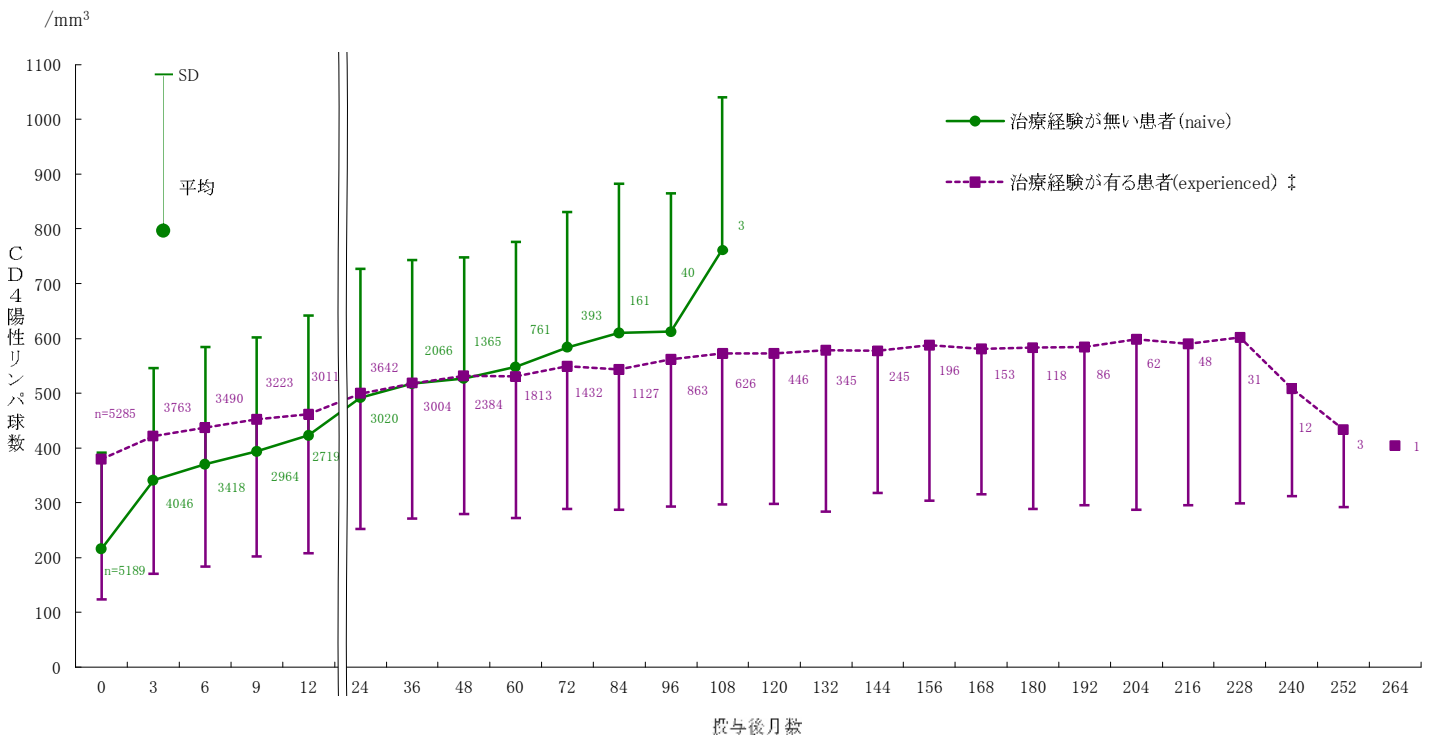
医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エビテル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997年2月 ~ 2007年2月
コンビテル配合錠	ジドブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999年6月 ~ 2007年2月
クリキハソカフセル ^{※1}	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997年3月 ~ 2007年3月
点滴静注用ホスカビル	ホスカルネットナトリウム水和物	1997年3月 ~ 2007年3月
ゼリットカフセル ^{※1}	ザニルブジン (d4T)	1997年7月 ~ 2007年7月
デノソカフセル ^{※1}	ガンソクロビル	1997年7月 ~ 2007年7月
インビラセカフセル ^{※1}	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997年9月 ~ 2007年9月
ノービア内用液・ソフカフセル ^{※1}	リトナビル (RTV)	1997年11月 ~ 2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネルフイナビルメシル酸塩 (NFV)	1998年3月 ~ 2008年3月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
クラリッド錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998年11月 ~ 2008年11月
ザイゾン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999年9月 ~ 2009年9月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999年9月 ~ 2009年9月
カレラ配合錠・配合内用液	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000年12月 ~ 2010年12月
エプゾコム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004年12月 ~ 2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001年12月 ~ 2011年12月
カレラ配合錠	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011年4月 ~ 2013年3月 ^{※2}
レイアタツカフセル 150mg, 200mg	アタザナビル硫酸塩 (ATV)	2003年12月 ~ 2013年12月
ビリアード錠 300mg	テノホビルジソプロキシル fumarate 酸塩 (TDF)	2004年3月 ~ 2014年3月
バリキサ錠 450mg	バルガソクロビル塩酸塩	2004年11月 ~ 2014年11月
レクソヴァ錠 700	ホスアンブレナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004年12月 ~ 2014年12月
エムトリバカフセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005年3月 ~ 2015年3月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシル fumarate 酸塩 (FTC/TDF)	2005年3月 ~ 2015年3月
プリジスタ錠 300mg ^{※1}	ダルナビル (DRV)	2007年11月 ~ 2017年11月
プリジスタ錠 600mg	ダルナビル (DRV)	2014年12月 ~ 2017年11月
プリジスタナীব錠 400mg ^{※1}	ダルナビル (DRV)	2009年8月 ~ 2017年11月
プリジスタナীব錠 800mg	ダルナビル (DRV)	2013年7月 ~ 2017年11月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008年6月 ~ 2018年6月
ミコフティンカフセル 150mg	リファブチン	2008年7月 ~ 2018年7月
インテリス錠 100mg	エトラビル (ETR)	2008年12月 ~ 2018年12月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008年12月 ~ 2018年12月

※1:クリキハソカフセル・ゼリットカフセル・デノソカフセル・インビラセカフセル・ノービアソフカフセル・プリジスタ錠 300mg・プリジスタナীব錠 400mg は現在、販売されておりません。

※2:カレラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

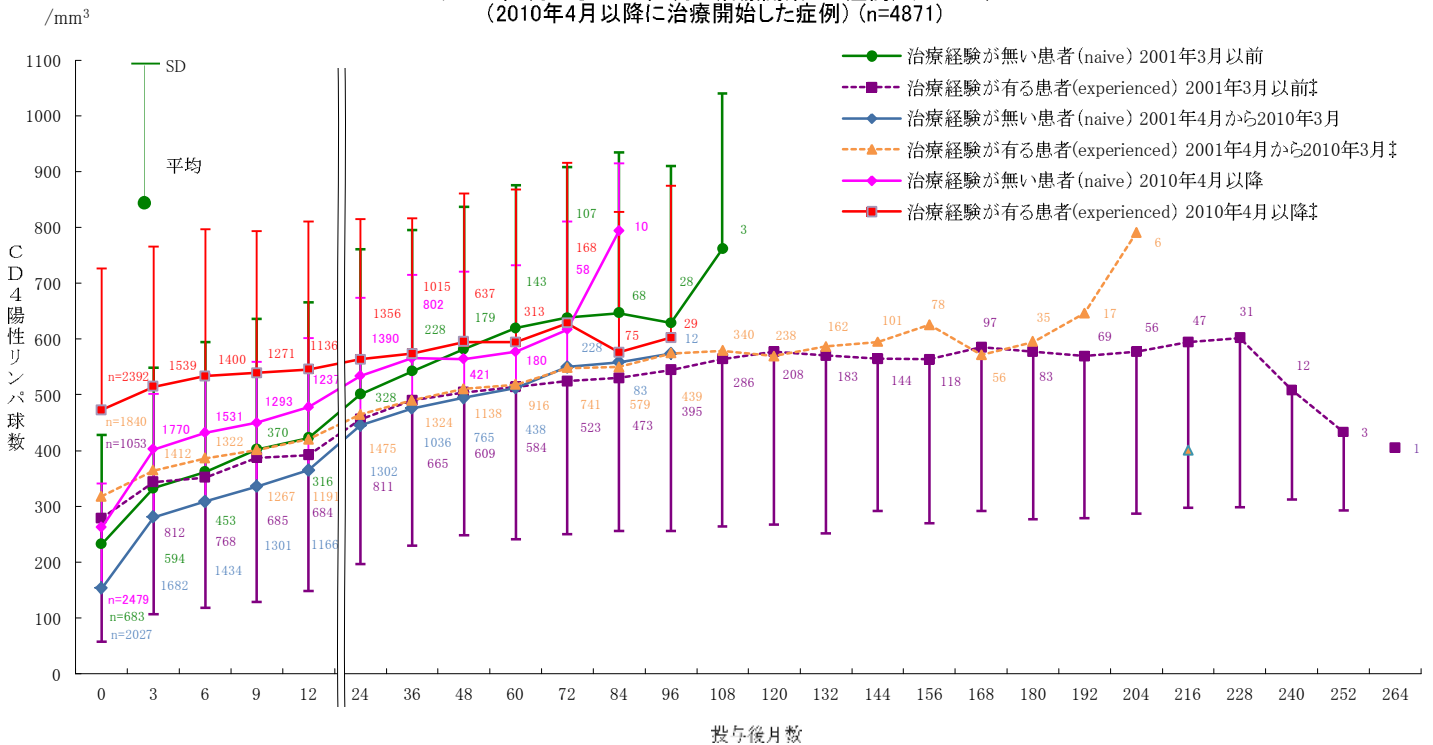
＜調査対象全症例における治療開始後のCD4数の推移＞

治療開始後のCD4数の推移[†]
 (調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=10474)



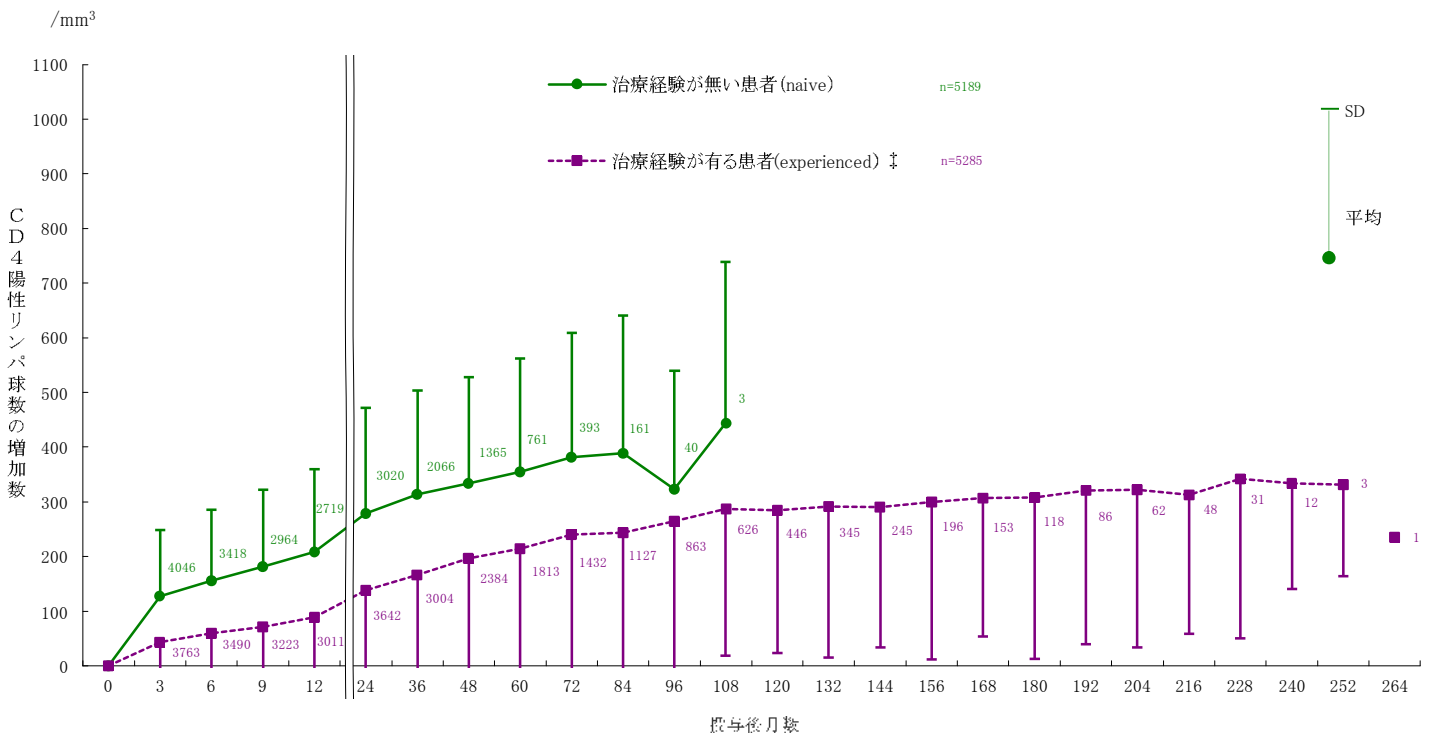
† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4数の推移[†]
 (2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1736)
 (2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=3867)
 (2010年4月以降に治療開始した症例) (n=4871)



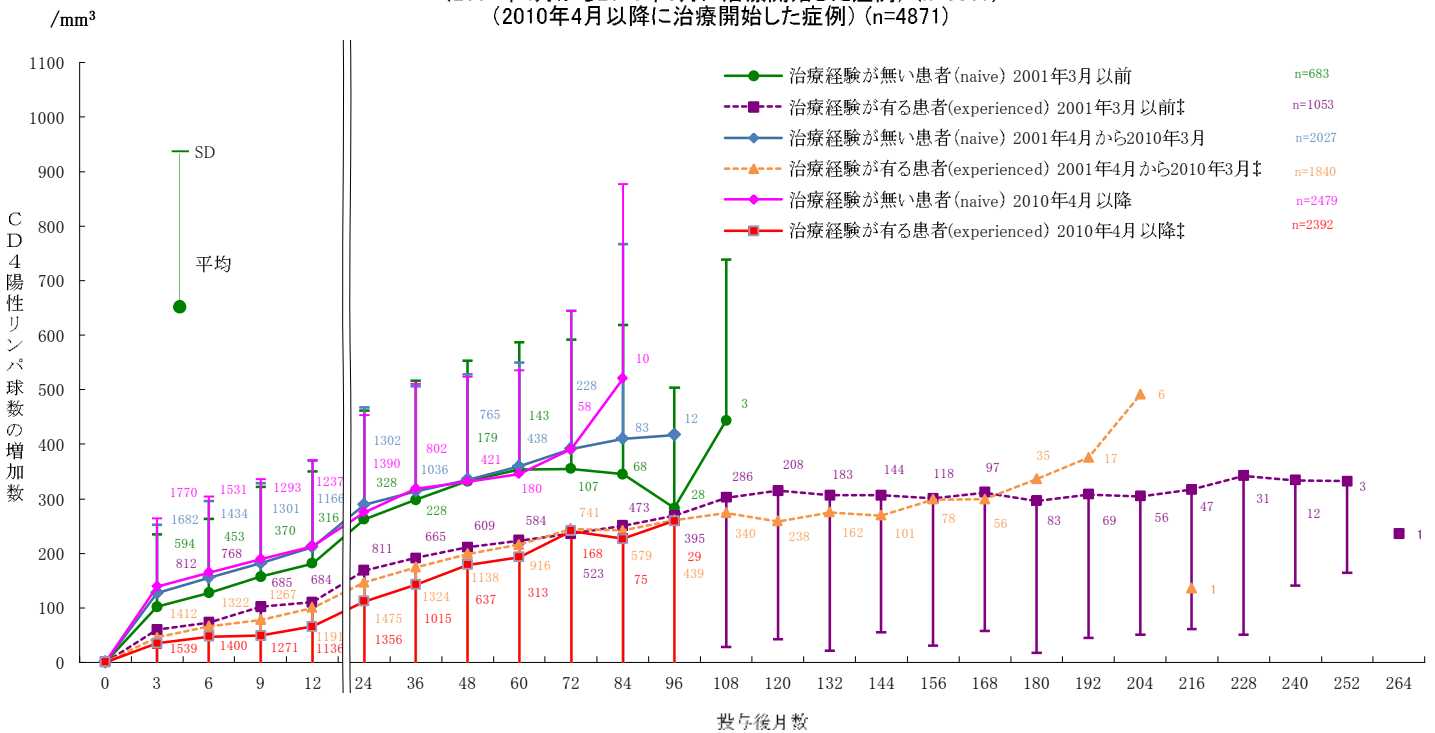
† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4増加数の推移[†] (調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=10474)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

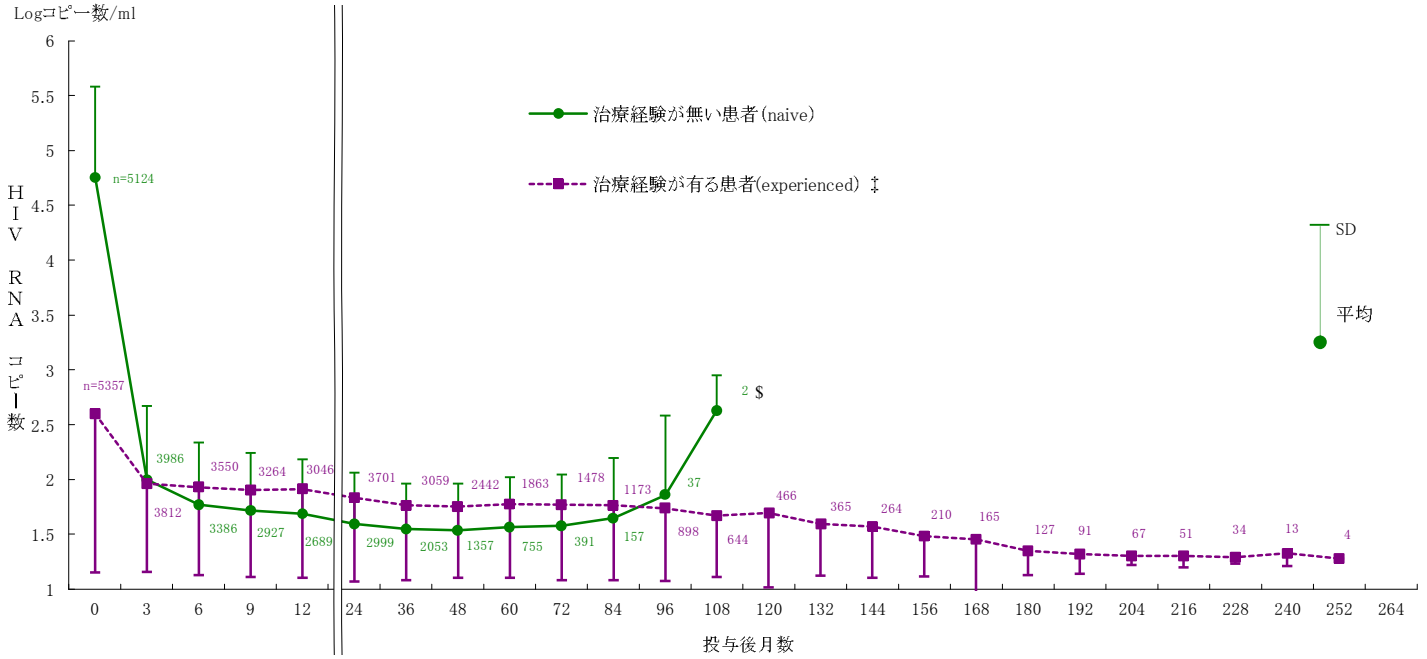
治療開始後のCD4増加数の推移[†] (2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1736) (2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=3867) (2010年4月以降に治療開始した症例) (n=4871)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

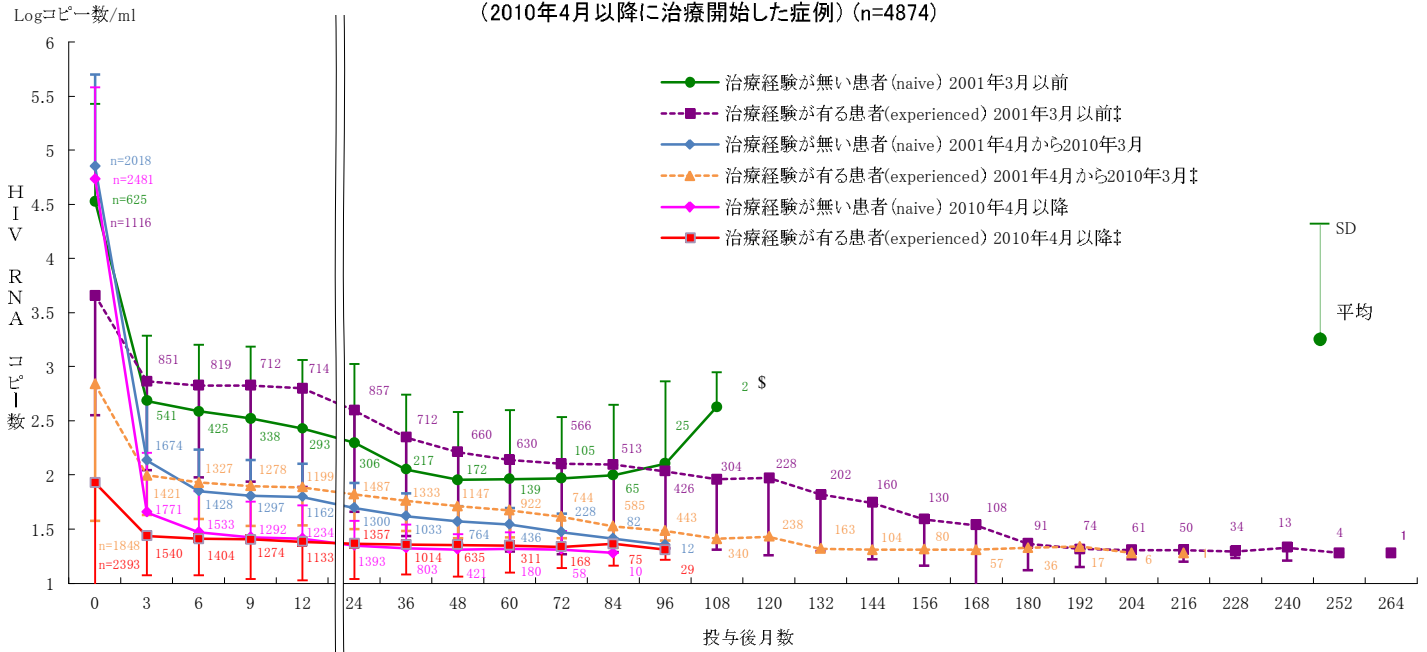
＜調査対象全症例における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移＞

治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]
(調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=10481)



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
[§] Naive症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

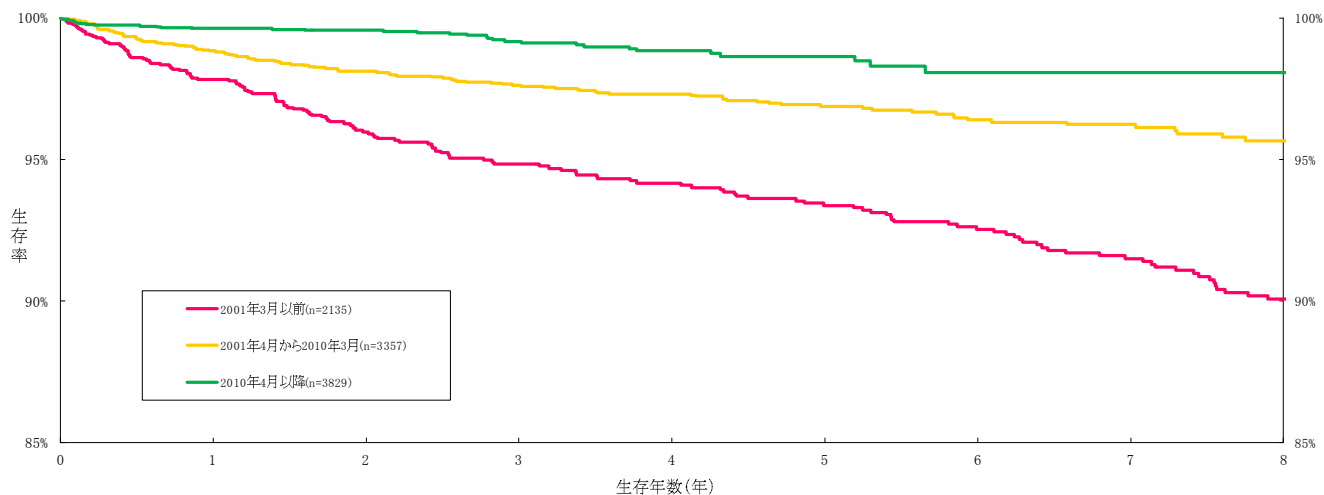
治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1741)
(2001年4月から2010年4月に治療開始した症例) (n=3866)
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=4874)



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
[§] Naive症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>

HRD共同調査生存率
 治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間:1997年8月から2019年3月)



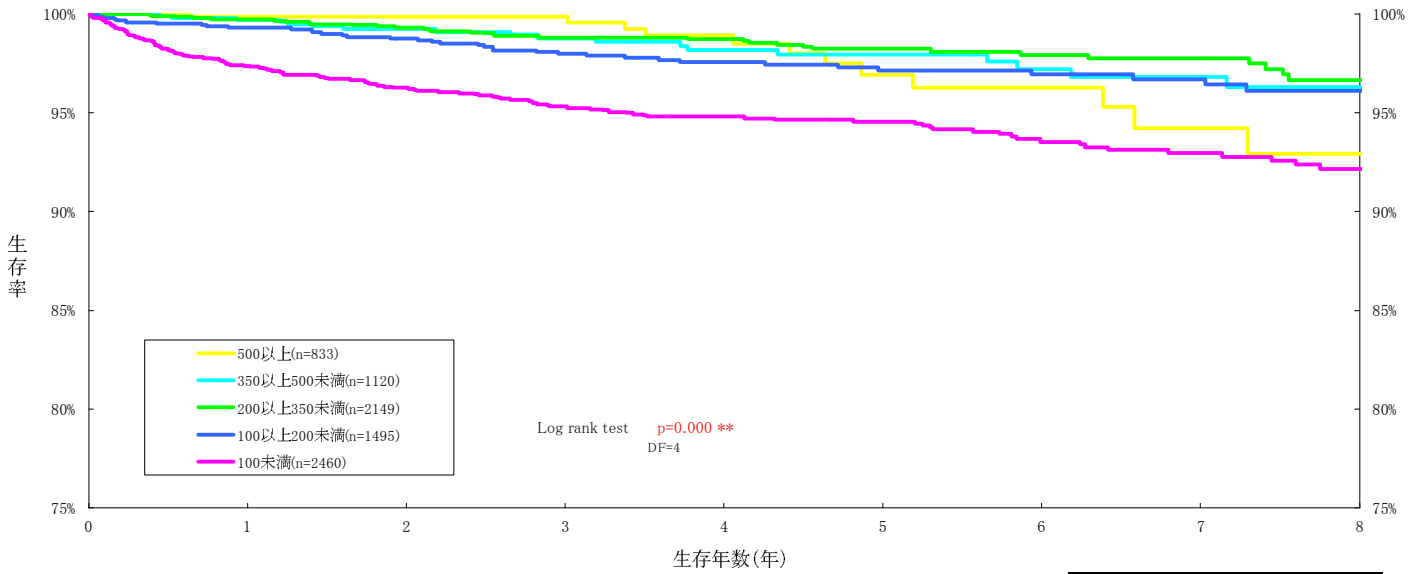
治療開始時期	生存年数											
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
2001年3月以前	2135	1842	1600	1341	1229	1165	1042	907	742	572	403	
2001年4月から2010年3月	3357	3110	2877	2653	2233	1674	1280	947	692	505	328	
2010年4月以降	3829	3081	2424	1763	1172	646	331	145	34	-	-	
治療開始時期別の生存者数	生存年数											
	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	
	2001年3月以前	341	274	228	194	165	126	97	81	63	37	14
	2001年4月から2010年3月	211	121	94	57	35	17	4	1	-	-	-
	2010年4月以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

治療開始時期別	Log rank test
2001年3月以前 vs 2001年4月以降	p=0.000 **
2010年3月以前 vs 2010年4月以降	p=0.000 **

上記の表は9年以降の生存者数も表記した。

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)>

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 1997年8月から2019年3月)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。

本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

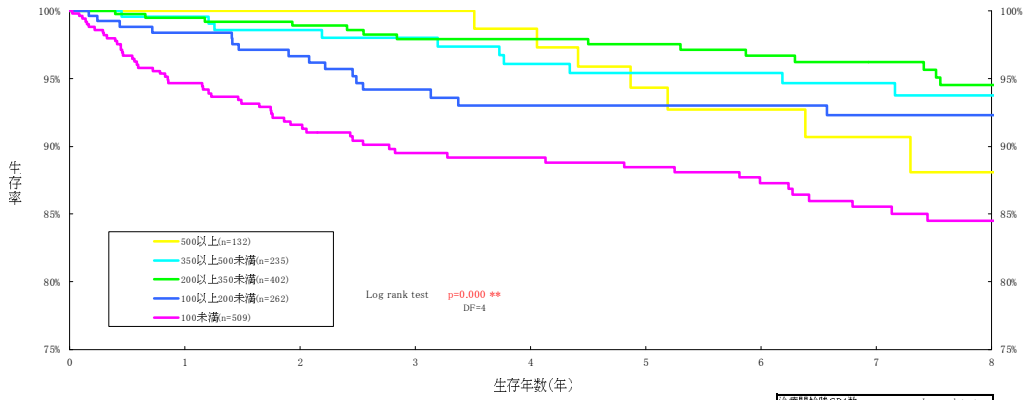
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.078
350未満 vs 350以上	p=0.001 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数										
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
<100	2460	2119	1830	1570	1295	988	718	537	369	259	184
<200	1495	1330	1204	1031	848	619	472	340	251	189	130
<350	2149	1905	1671	1385	1099	781	595	420	296	213	139
<500	1120	909	721	560	438	321	254	195	149	97	68
500 ≤	833	627	461	349	238	157	113	77	55	35	21
治療開始時 CD4数別の 生存者数	生存年数										
	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
<100	136	98	83	64	55	35	20	13	10	8	4
<200	96	67	55	42	34	22	20	19	13	8	3
<350	104	78	62	50	39	29	25	21	15	6	4
<500	54	35	30	24	18	11	8	6	4	2	2
500 ≤	15	9	8	8	5	4	2	2	2	1	0

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月以前に治療開始した症例)

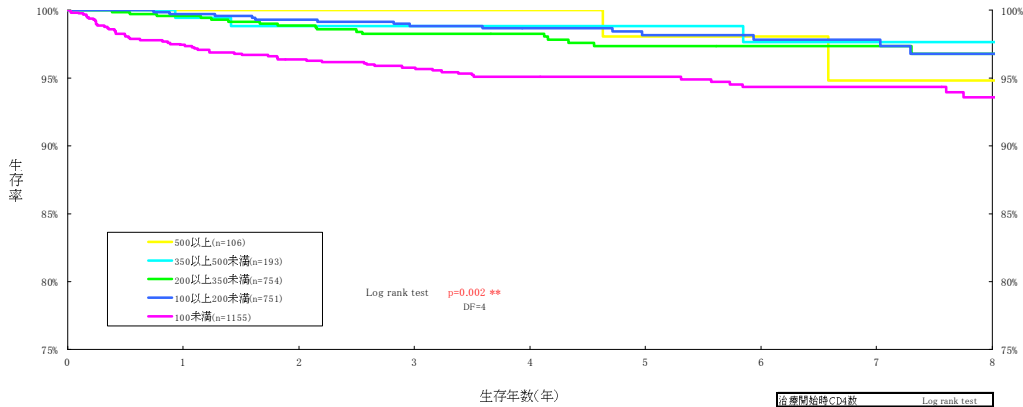


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等を要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.645
350未満 vs 350以上	p=0.025 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数別の生存者数	治療開始時CD4数	生存年数																				
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)
<100	509	397	332	278	259	249	212	176	144	103	81	68	59	51	41	31	26	17	12	10	8	4
<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	22	20	19	13	8	3
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	25	21	15	6	4
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	82	48	40	27	22	20	15	9	8	6	4	2	2
500以上	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	4	2	2	2	1	0

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)

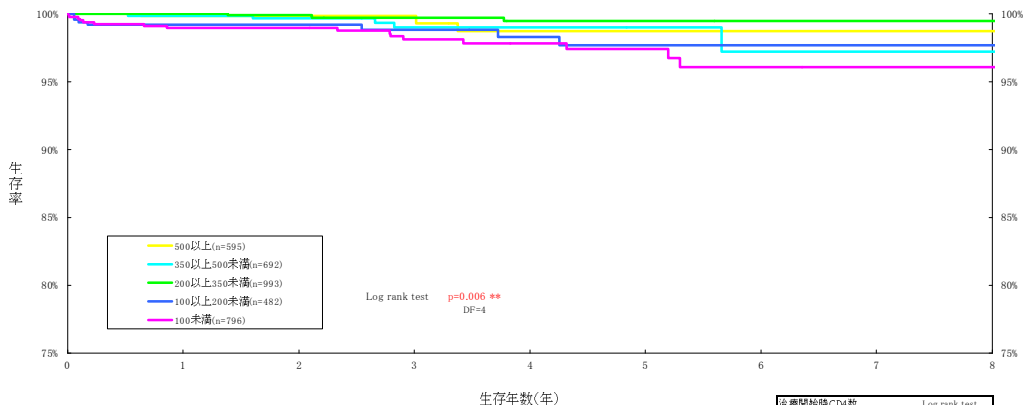


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等を要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.359
350未満 vs 350以上	p=0.097
200未満 vs 200以上	p=0.014 *
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数別の生存者数	治療開始時CD4数	生存年数																			
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	
<100	1125	1054	983	896	773	580	434	326	216	156	103	68	39	32	23	21	9	3	1		
<200	751	705	671	626	529	389	289	197	147	105	67	40	23	18	9	3	0	0	0		
<350	124	705	662	605	488	356	276	194	142	99	62	39	24	18	11	4	2	0	0		
<500	193	173	154	136	116	93	80	66	50	35	20	14	8	8	4	3	2	0	0		
500以上	106	97	81	72	60	44	37	27	21	16	9	6	3	2	2	0	0	0	0		

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2010年4月以降に治療開始した症例)



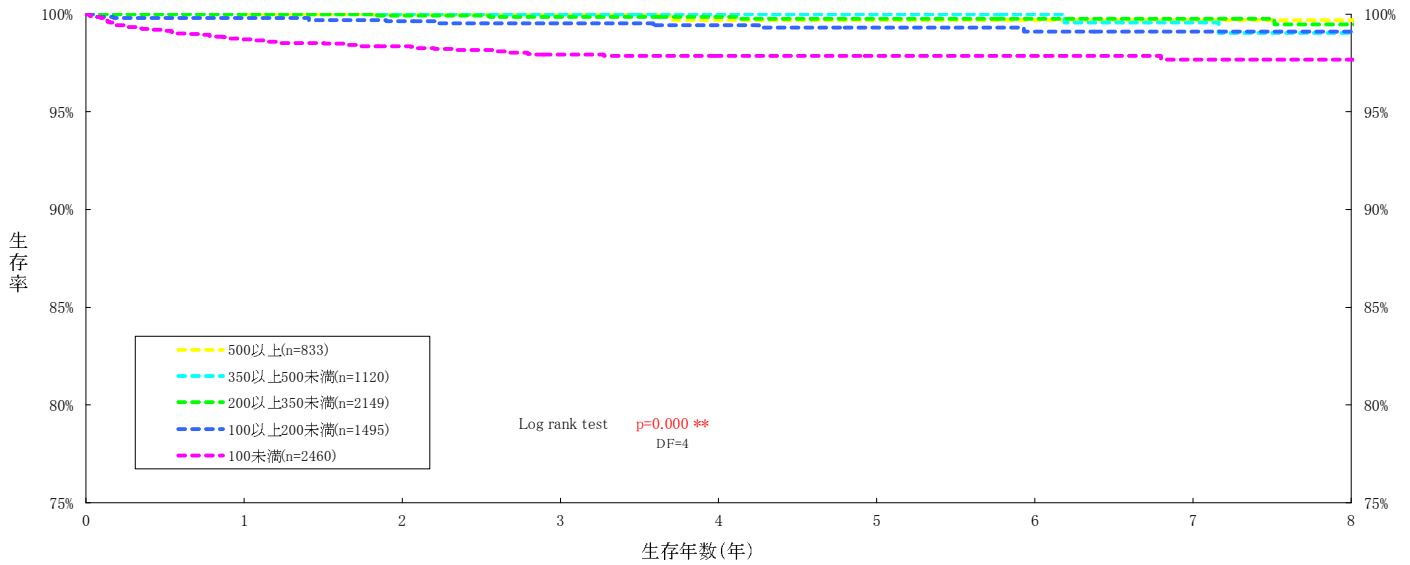
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等を要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.416
350未満 vs 350以上	p=0.313
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.002 **

治療開始時CD4数別の生存者数	治療開始時CD4数	生存年数								
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<100	796	668	535	396	263	159	72	35	9	0
<200	482	385	326	236	162	85	48	17	3	0
<350	993	836	684	503	356	184	95	36	7	0
<500	692	528	399	271	176	90	46	20	6	0
500以上	595	418	283	196	106	53	24	13	5	0

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)>

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:1997年8月から2019年3月)

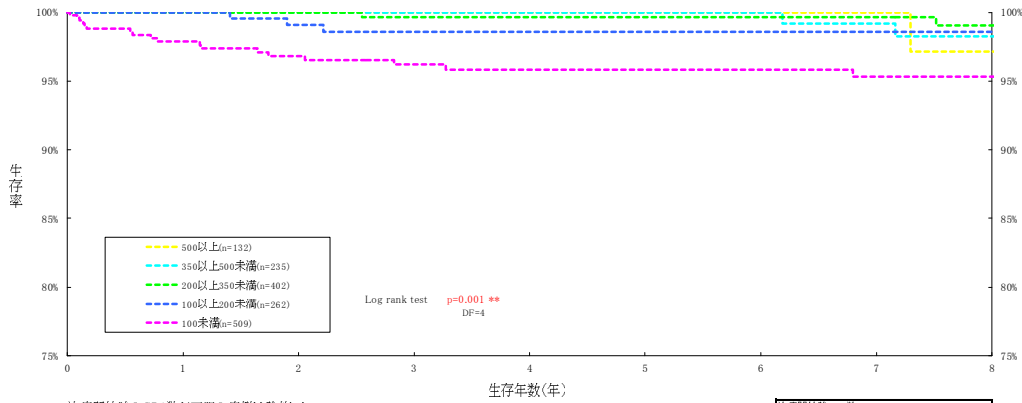


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.101
350未満 vs 350以上	p=0.002 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数											
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
<100	2460	2119	1830	1570	1295	988	718	537	369	259	184	
<200	1495	1330	1204	1031	848	619	472	340	251	189	130	
<350	2149	1905	1671	1385	1099	781	595	420	296	213	139	
<500	1120	909	721	560	438	321	254	195	149	97	68	
500 ≤	833	627	461	349	238	157	113	77	55	35	21	
治療開始時 CD4数別の 生存者数	生存年数											
	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	
<100	136	98	83	64	55	35	20	13	10	8	4	
<200	96	67	55	42	34	22	20	19	13	8	3	
<350	104	78	62	50	39	29	25	21	15	6	4	
<500	54	35	30	24	18	11	8	6	4	2	2	
500 ≤	15	9	8	8	5	4	2	2	2	1	0	

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年3月以前に治療開始した症例)

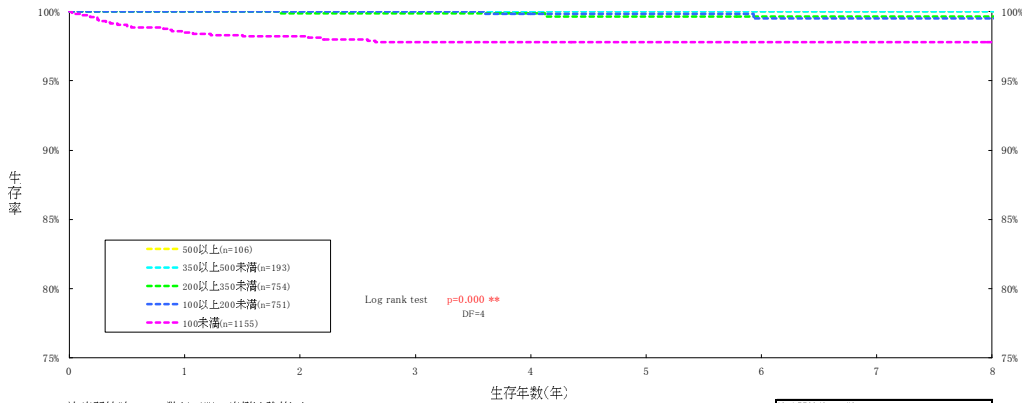


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.431
350未満 vs 350以上	p=0.138
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数																					
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
<100	509	392	322	278	259	249	212	176	144	103	81	68	59	51	41	34	26	17	12	10	8	4
<200	282	226	207	169	157	145	135	128	101	84	63	56	44	37	33	31	22	20	19	13	8	3
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	25	21	15	6	4
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	8	6	4	2	2
500≧	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	4	2	2	2	1	0

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)

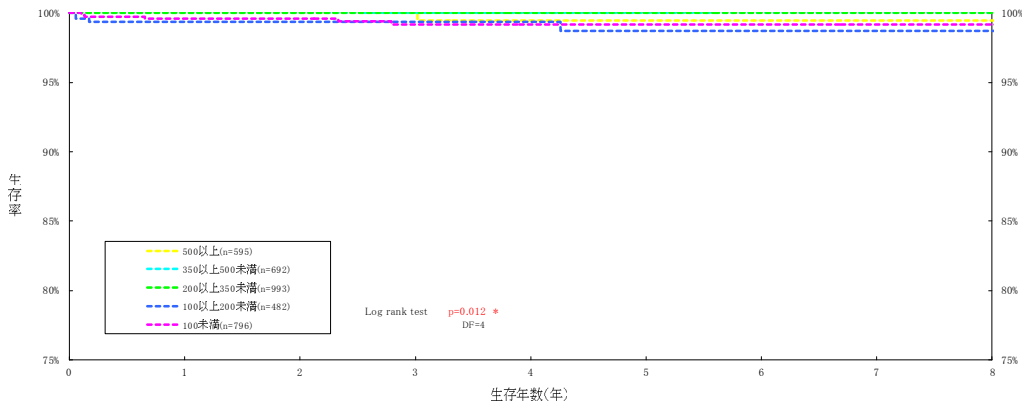


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.311
350未満 vs 350以上	p=0.076
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数																				
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)		
<100	1155	1054	963	896	773	580	434	326	216	156	103	68	39	32	21	9	3	1			
<200	751	709	671	626	529	389	289	197	147	105	67	40	23	18	9	3	0	0			
<350	754	706	662	605	488	356	276	194	142	99	62	39	24	18	11	4	2	0			
<500	120	113	114	136	116	93	80	66	39	35	20	14	8	8	4	3	2	0			
500≧	106	97	81	72	60	44	37	27	21	16	9	6	3	2	2	0	0	0			

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2010年4月以降に治療開始した症例)



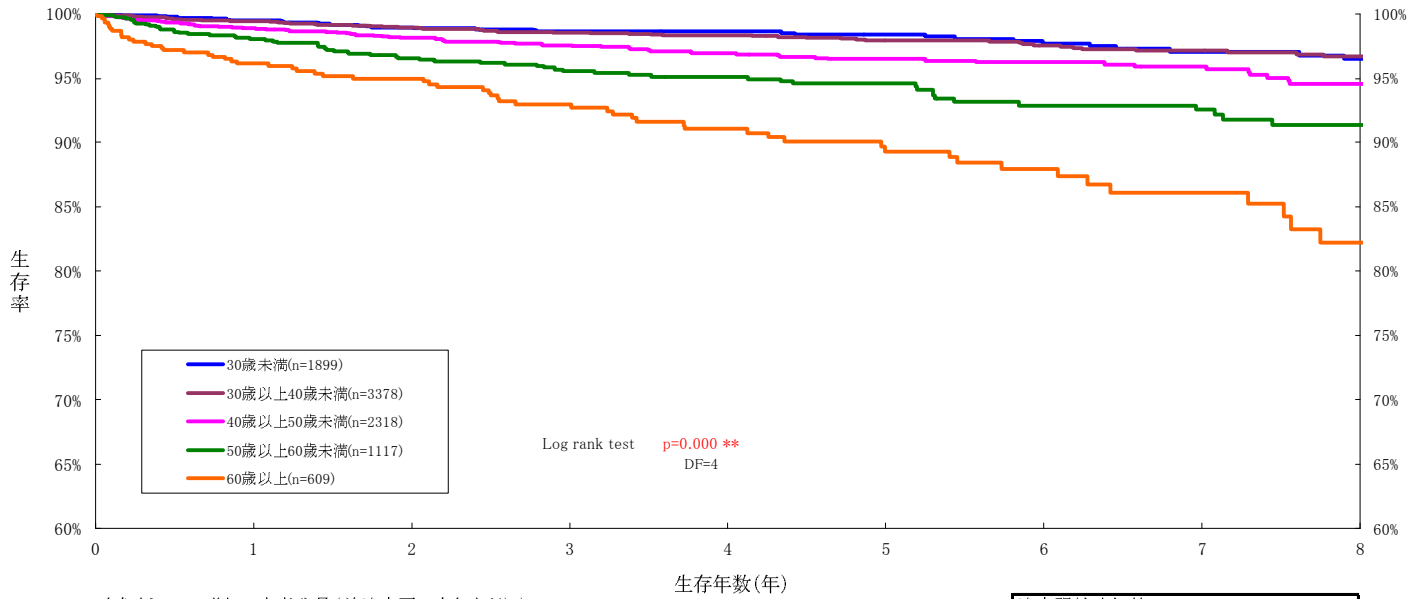
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.671
350未満 vs 350以上	p=0.117
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.044 *

治療開始時 CD4数	生存年数								
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年 (9年)
<100	796	668	535	396	263	159	72	35	9
<200	482	383	326	236	162	85	48	17	3
<350	993	836	684	503	356	184	95	36	7
<500	692	528	390	271	176	90	46	20	6
500≧	595	418	283	186	106	53	24	13	5

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>

HRD共同調査生存率
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間: 1997年8月から2019年3月)

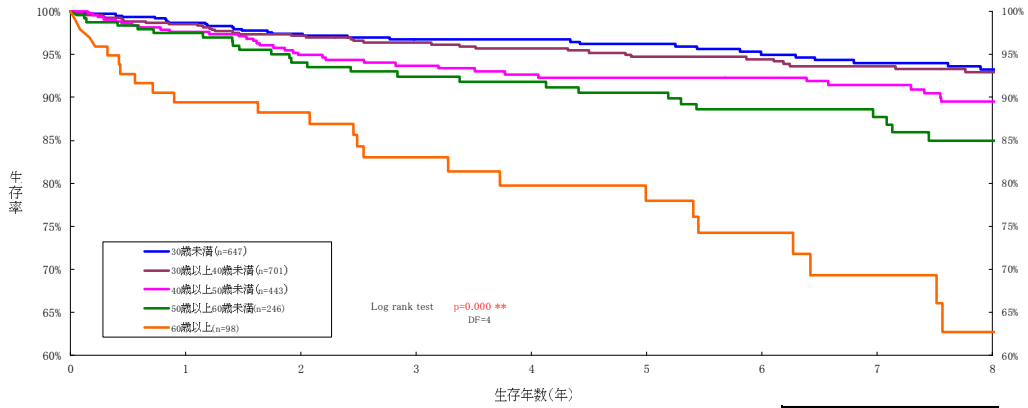


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢	治療開始時年齢	生存年数										
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
治療開始時年齢別の生存者数	<30	1899	1604	1359	1104	869	667	518	406	318	239	166
	<40	3378	2941	2550	2162	1778	1296	992	740	546	396	270
	<50	2318	2020	1723	1428	1118	853	655	493	352	260	168
	<60	1117	965	830	695	574	433	330	254	180	129	89
	60≤	609	503	439	368	295	226	158	106	72	53	38
	治療開始時年齢	生存年数										
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
	<30	129	92	78	68	57	39	33	31	22	19	7
	<40	205	152	121	99	82	64	45	34	27	11	4
	<50	124	83	64	45	35	23	14	11	10	4	2
	<60	68	53	46	30	18	10	6	5	3	3	1
	60≤	26	15	13	9	8	7	3	1	1	0	0

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月以前に治療開始した症例)

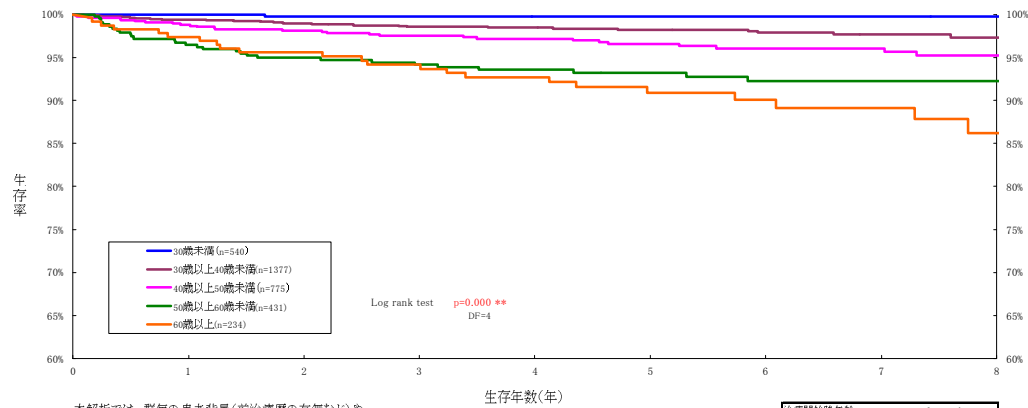


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.001 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	年齢	生存年数																				
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)
<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	58	49	35	31	30	22	19	7
<40	701	603	524	447	409	383	349	305	248	192	143	123	107	89	76	69	57	44	34	27	11	4
<50	443	388	333	279	261	254	232	202	168	128	85	72	54	41	33	27	19	14	11	10	4	2
<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77	59	43	36	32	28	21	14	9	6	5	3	3	1
60歳	98	79	70	55	47	44	32	25	19	16	11	10	6	6	6	6	6	2	1	1	0	0

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)

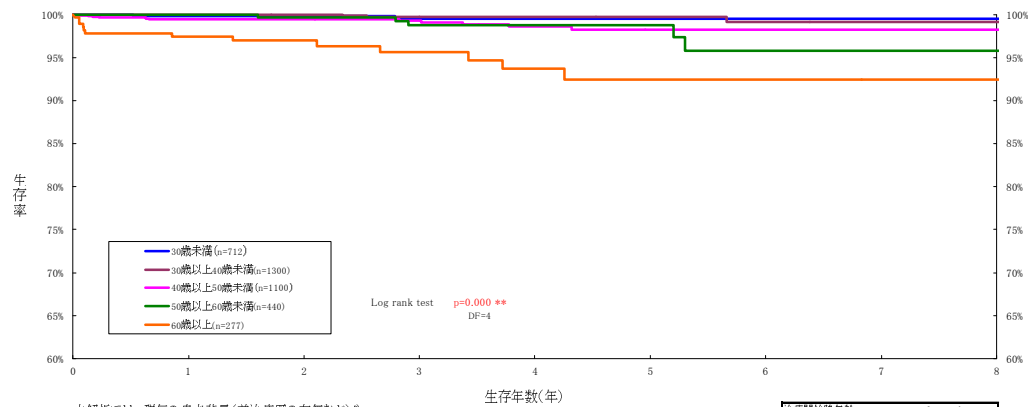


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	年齢	生存年数																	
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
<30	540	491	448	401	321	240	174	118	83	62	45	29	17	14	10	8	4	2	1
<40	1377	1283	1184	1095	924	678	517	378	287	204	127	82	45	32	23	13	7	1	0
<50	775	720	671	628	535	413	327	245	175	132	83	52	29	23	12	8	4	0	0
<60	431	397	370	324	284	212	163	134	97	70	46	32	21	18	9	4	1	0	0
60歳	234	219	204	195	169	131	99	72	50	37	27	16	9	7	3	2	1	1	0

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2010年4月以降に治療開始した症例)



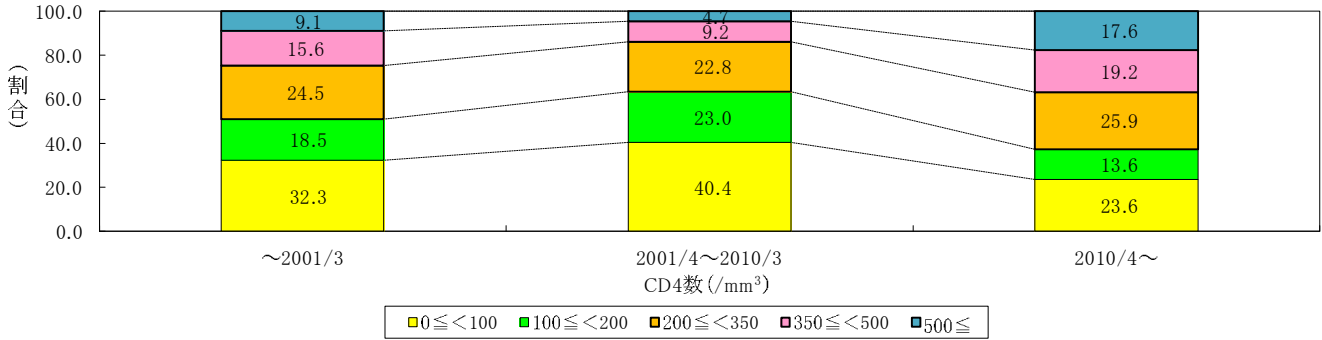
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.081
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	年齢	生存年数								
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<30	712	530	421	298	188	94	40	15	5	0
<40	1300	1055	842	620	445	235	126	57	11	0
<50	1100	912	719	521	322	186	96	46	9	0
<60	440	359	277	206	140	80	42	18	6	0
60歳	277	205	165	118	79	51	27	9	3	0

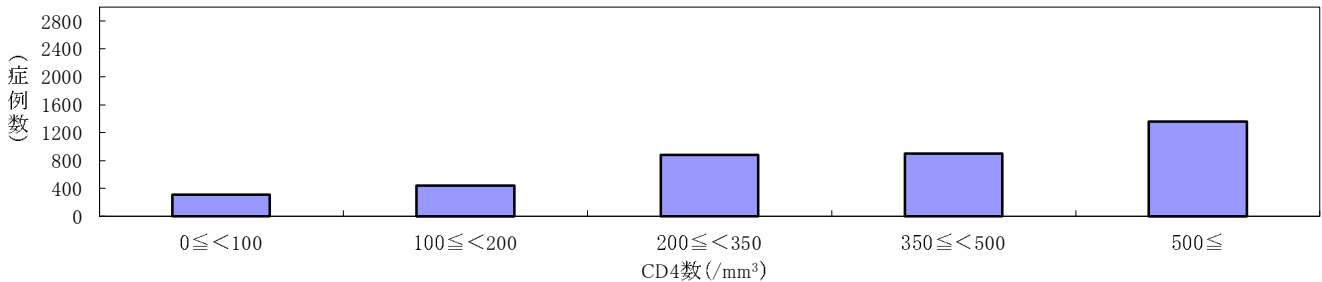
＜調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数＞

治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のCD4数
(調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=3893)



併用療法薬剤変更時のCD4数

(調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=3893)



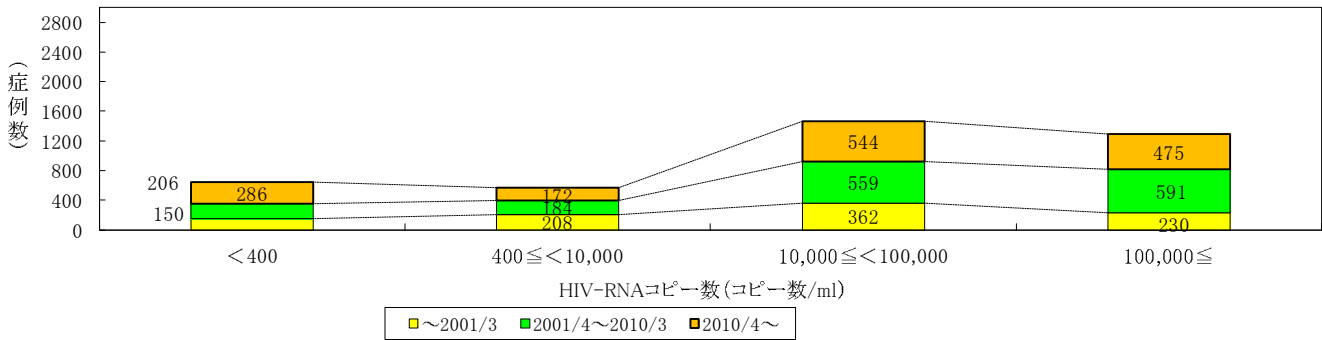
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

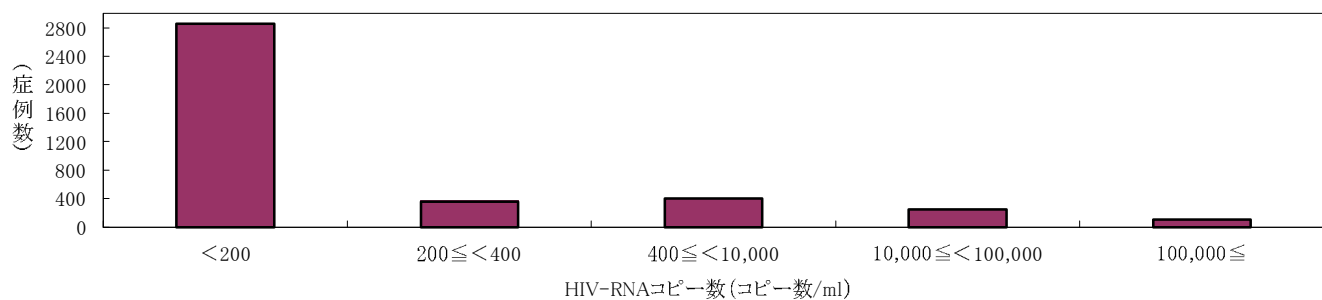
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=3967)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2019年3月) (n=3967)

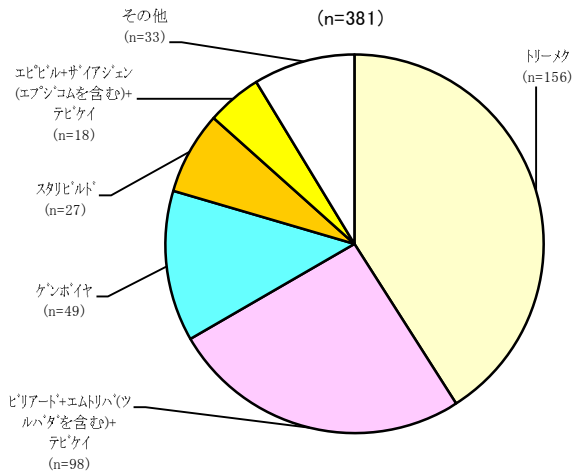


※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

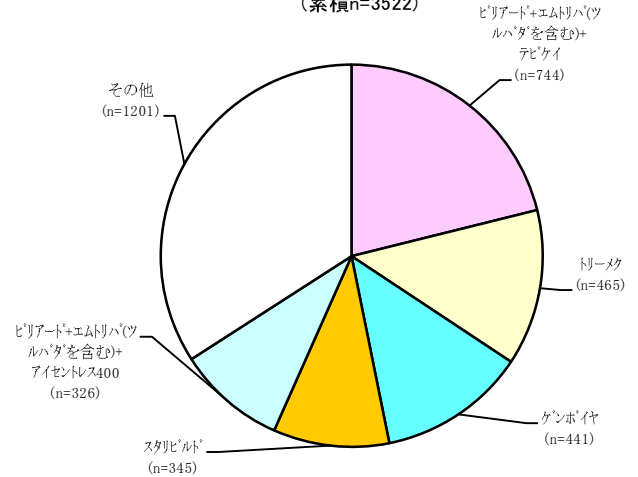
治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

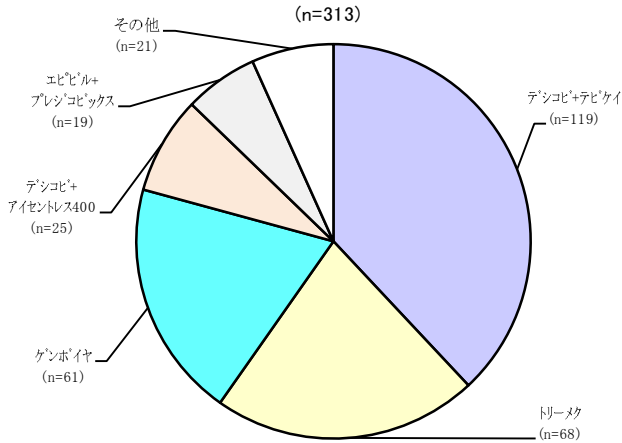
2016年度(2016年4月から2017年3月まで)に治療開始した患者
(治療経験が無い患者:
naive患者)
への併用療法薬剤組合せトップ5
(n=381)



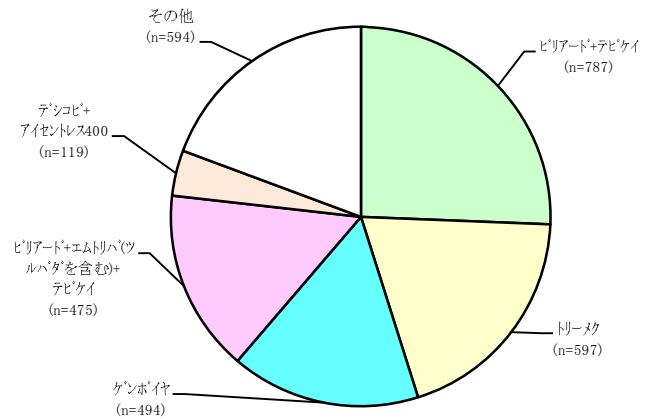
2016年度(2016年4月から2017年3月まで)併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=3522)



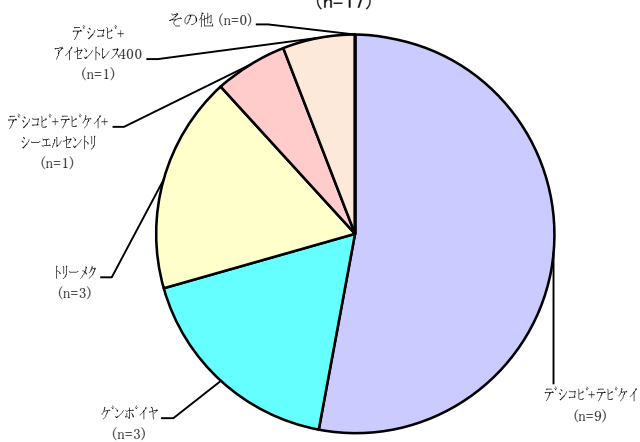
2017年度(2017年4月から2018年3月まで)に治療開始した患者
(治療経験が無い患者:
naive患者)
への併用療法薬剤組合せトップ5
(n=313)



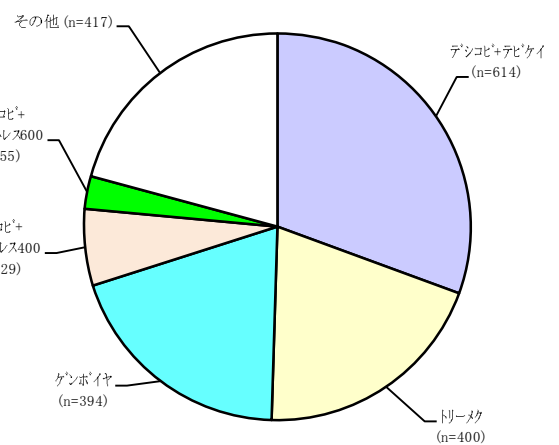
2017年度(2017年4月から2018年3月まで)併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=3066)



2018年度(2018年4月から2019年3月まで)に治療開始した患者
(治療経験が無い患者:
naive患者)
への併用療法薬剤組合せトップ5
(n=17)



2018年度(2018年4月から2019年3月まで)併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=2009)



HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>